



JST Innovation Bridge

首都大学東京 研究シーズ発表会 2007

— 環境都市“東京”の創造 —

首都大学東京では、イノベーション創出の可能性を秘めた研究を、産業界の視点で探索して頂く産と学の出会いの「場」として、独立行政法人科学技術振興機構(JST)との共催により研究シーズ発表会を開催いたしますので、お知らせします。

開催日時 平成19年10月17日(水) 13時30分～18時00分
会場 秋葉原ダイビル5階 秋葉原カンファレンスフロア(千代田区外神田1-18-13)
定員 80名(口頭発表のテーマ毎の定員)
参加費 無料(交流会参加者は会費 2,000円)
申込み ホームページ(<http://deainoba.jp>)又は FAX(03-5214-8496)にてお申込ください。

【プログラム】

☆口頭発表

- 【第一部】 (13:45～14:35)
「心理学的ルール抽出法と心理的支援システムへの応用」
首都大学東京人文科学研究科 山下 利之 教授 他3題
- 【第二部】 (15:40～16:55)
「建築物群がつくる地表面の幾何学的形状と都市気候」
首都大学東京都市環境科学研究科 高橋日出男 教授 他5題

☆ショートプレゼンテーション

- 【第一部】 (14:40～15:15)
「分子物性の精密計算法の開発」
首都大学東京理工学研究科 波田 雅彦 教授 他15題
- 【第二部】 (17:00～17:35)
「ロボットによる心のケア“ロボット・セラピー”」
首都大学東京システムデザイン研究科 和田 一義 准教授 他15題

主催：首都大学東京、独立行政法人科学技術振興機構

【問合せ先】

公立大学法人首都大学東京産学公連携センター
TEL 042-585-8487 (ダイヤルイン)
FAX 042-585-8677
E-Mail: soudanml@cc.tmit.ac.jp




JST Innovation Bridge 首都大学東京 研究シーズ発表会2007

イノベーション創出の可能性を秘めたシーズ候補を、産業界の視点で探索頂く産と学との出会いの「場」を提供いたします。

- 共同研究に意欲的な首都大学東京の研究者が、最先端の研究発表を行います。
- ポスター会場等で、研究者と意見交換が行えます。
- 本発表会により新たな出会いが生まれ、本事業へのご応募等、産学連携に発展することを期待しております。

～環境都市“東京”の創造～

2007年10月17日(水)13:30~18:00(交流会 18:00~)

主催：首都大学東京  独立行政法人 科学技術振興機構
後援：東京都、東京商工会議所、東京都商工会連合会、
地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター、
財団法人 東京都中小企業振興公社
協賛：アキバテクノクラブ
会場：秋葉原カンファレンスフロア(秋葉原ダイビル5F)
参加費：無料(交流会は会費 2,000円)

発表テーマの
ポスター展示も
同時開催!

ホームページ(<http://deainoba.jp/>)またはFAX(裏面)にて
お早めにお申し込み下さい。

※お申し込み多数の場合は、事前に締め切らせて頂く場合がございます。

産学共同シーズイノベーション化事業

800万円の共同研究でイノベーション創出に挑戦!
優れた研究には、更に2億円/4年度の研究費支援も!

詳しくは → <http://www.jst.go.jp/innovate/>

首都大学東京 研究シーズ発表会 2007

～環境都市“東京”の創造～

2007.10.17(水) 秋葉原カンファレンスフロア

【プログラム】

主催者挨拶 13:30 首都大学東京 学長 西澤潤一 (会場 I)

独立行政法人科学技術振興機構 (会場 I)

【口頭発表 13:45～14:35 : 25分間説明】

会場	分野	開始時間	テーマ	発表者
会場 I	人と自然、健康	A 1 13:45	心理学的ルール抽出法と心理的支援システムへの応用 ヒューマンフレンドリーなインタラクションを目指して	人文科学研究科 人間科学専攻 教授 山下利之
		A 2 14:10	世界に誇るべき生態系・南硫黄島 25年ぶりの自然環境調査の学術的価値と環境保全をめざして	理工学研究科 生命科学専攻 助教 加藤英寿
会場 III	新素材、新技術	B 1 13:45	省エネルギー・CO ₂ 削減対策 地球温暖化環境対策に関する研究	システムデザイン研究科 システムデザイン専攻 教授 川上満幸 助教 山中仁寛
		B 2 14:10	金ナノ粒子触媒を用いた空気浄化とグリーンケミストリー 様々な物質(金属酸化物、炭素、高分子)に金ナノ粒子を分散・固定化	都市環境科学研究科 環境調和・材料化学専攻 教授 春田正毅
14:35～14:40			休 憩	

【ショートプレゼンテーション 14:40～15:15 : 2分間概要説明】

会場	分野	テーマ	発表者
会場 I	人と自然、健康	A 1 風水思想と科学技術史 東洋の前近代科学の一端を知る	人文科学研究科 社会行動学専攻 教授 渡邊欣雄
		A 2 観光資源と生涯教育講座との複合による地域活性化の試み 都下伊豆諸島、及び奥多摩地域の観光資源再評価と生涯教育講座との組み合わせによる新たな産業資源の創出	人文科学研究科 社会行動学専攻 教授 高桑史子
		A 3 言語の脳科学 脳科学の視点から言語教育を考える	人文科学研究科 人間科学専攻 教授 萩原裕子
		A 4 光合成細菌を含む微生物バイオマットの物質循環と水素発生 太陽エネルギー利用の二酸化炭素固定系の構築を目指して	理工学研究科 生命科学専攻 教授 松浦克美
		A 5 ショウジョウバエを利用した統合失調症関連遺伝子の解析 統合失調症の遺伝要因の解明と治療・診断への応用	理工学研究科 生命科学専攻 准教授 坂井貴臣
		A 6 環境ストレスに強い植物の開発 イネ環境応答遺伝子RSOsPR10の過剰発現植物は、高塩、乾燥に対して高い耐性を示す	理工学研究科 生命科学専攻 教授 小柴共一
		A 7 全身振動に暴露する人体の特性 振動環境下の人体への健康影響、快適性、乗り心地の評価、	理工学研究科 機械工学専攻 教授 吉村卓也 助教 玉置元
		A 8 文化的景観を活かしたまちづくりに関する基礎的研究 奥多摩(御嶽・日の出町)観光まちづくりでの取組み	都市環境科学研究科 建築学専攻 教授 山田幸正
会場 I	新素材、新技術	B 1 分子物性の精密計算法の開発 生体モデル系・重原子化合物系への応用	理工学研究科 分子物質化学専攻 教授 波田雅彦
		B 2 安定同位体比の質量分析による食の安全と産地特定に関する実用研究 食料品の産地偽装防止・ブランド保証・安全安心感醸成をめざす	理工学研究科 分子物質化学専攻 教授 伊永隆史
		B 3 In-Cell NMRを用いた細胞内分子動態の非侵襲計測 細胞の中の蛋白質の挙動を原子分解能で解析する技術の開発	理工学研究科 分子物質化学専攻 教授 伊藤 隆
		B 4 半導体量子効果デバイス・無線応用集積デバイスの研究 共鳴トンネルダイオード、オンチップ集積アンテナなど	理工学研究科 電気電子工学専攻 准教授 須原理彦
		B 5 感温液晶マイクロカプセルを用いた3次元温度分布測定法 放射線、電磁波の高分子へのエネルギー吸収の評価とそれを支えるシミュレーション技術	理工学研究科 電気電子工学専攻 准教授 鈴木敏久
		B 6 セラミックスの熱衝撃破壊メカニズムのディスクオンロード試験による定量評価 熱衝撃による破損事故を防止する方法の探究	理工学研究科 機械工学専攻 准教授 若山修一
		B 7 CFRP板を用いた溶接部疲労き裂の新補修工法 —インフラ構造物の長寿命化を目指して—	都市環境科学研究科 都市基盤環境工学専攻 教授 前田研一
		B 8 CFRP格子筋と吹付けモルタルによるRC部材の補強効果 吹付け界面のせん断付着特性を考慮した格子筋補強効果の定量化	都市環境科学研究科 都市基盤環境工学専攻 教授 宇治公隆

15:15～15:40

ポスターセッション・休 憩

【口頭発表 15:40~16:55 : 25分間説明】

会場	分野	開始時間	テーマ	発表者
会場Ⅰ	人と自然、健康	A 3 15:40	建築物群がつくる地表面の幾何学的形状と都市気候 都市型豪雨とヒートアイランド現象の発生評価に向けて	都市環境科学研究科 地理環境科学専攻 教授 高橋日出男
		A 4 16:05	大規模災害時における「災害救助システム」の構築に関する研究 マイクロ波レーダーを用いた瓦礫下の探索・診断システム	システムデザイン研究科 システムデザイン専攻 教授 松井岳巳
		A 5 16:30	MRIの3次元計測による被写体の動き補正 MRIの診断能の向上を目指して	人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 教授 篠原広行
会場Ⅲ	新素材、新技術	B 3 15:40	疎水性表面微細構造による流動抵抗の低減化技術の開発 表面微細構造内のマイクロバブルと抵抗低減	理工学研究科 機械工学専攻 准教授 小方 聡
		B 4 16:05	高勾配磁気分離によるリンおよび有害金属汚染水の浄化 排水におけるリンの効率的な除去、及びヒ素、カドミウム、ウラン等をppmオーダーまで除去できる磁気分離システムの構築を目指す。	理工学研究科 電気電子工学専攻 助教 三浦大介
		B 5 16:30	カーボンナノチューブによるナノ流体デバイス ーガスセンサー、ナノバルブ、ナノジェットー	理工学研究科 物理学専攻 教授 真庭 豊

16:55~17:00	休 憩
-------------	-----

【ショートプレゼンテーション 17:00~17:35 : 2分間概要説明】

会場	分野	テーマ	発表者	
会場Ⅰ	人と自然、健康	A 9	ロボットによる心のケア “ロボット・セラピー”	システムデザイン研究科 システムデザイン専攻 准教授 和田一義
		A10	冷温感覚ディスプレイによるアート作品 Thermoesthesia 温度感覚をインタラクティブに表示できる新しいディスプレイ	システムデザイン学部 インダストリアルアートコース 教授 串山久美子
		A11	移植医療におけるクリニカル移植コーディネーターの役割 ー6年間の研究成果を踏まえてー	人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 教授 志自岐康子
		A12	インテリジェント型手すりの開発 起立動作を助け、要介護者を自立へ導く	人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 教授 新田 収
		A13	地域居住高齢者の健康と生活用品・用具ニーズの特性分析 郵送調査による自立高齢者の体力分類方法を用いたニーズ分析	人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 准教授 橋本美芽
		A14	環境にやさしい建材の研究 鉛を含まない遮蔽材やラドン発生が少ない建材	人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 教授 福士政広
	新素材、新技術	A15	健康弱者に対する良好な室内空気質確保の重要性 高齢者の集団施設における空気質に関わる微生物の変動に関する研究	人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 教授 菅又昌実
		A16	肥満に関連する遺伝子多型解析および口腔粘膜細胞における遺伝子発現について 生活習慣病予防のための遺伝的素因に関する検討	人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 助教 渡邊容子
		B 9	水道配水管網の適切な維持管理・更新計画 都市における水道管路システムの予防保全	都市環境科学研究科 都市基盤環境工学専攻 教授 小泉 明
		B10	首都直下地震からの事前復興対策に関する計画論的研究 震災復興まちづくり訓練手法の開発	都市環境科学研究科 都市システム科学専攻 教授 中林一樹
		B11	マイクロ科学計測システム 微少領域の分析化学に関する研究	都市環境科学研究科 環境調和・材料化学専攻 教授 内山一美
		B12	高規則性アルミナナノホールアレーの作製と機能化 ナノホールアレーにもとづく各種機能デバイスの作製	都市環境科学研究科 環境調和・材料化学専攻 教授 益田秀樹
		B13	層状ナノ粒子ーポルフィリン色素複合体の機能性 ナノレベルでの構造制御に基づくソルバトクロミズム	都市環境科学研究科 環境調和・材料化学専攻 准教授 高木慎久 教授 井上晴夫
		B14	超音波振動による微小物体の姿勢制御 把持が難しい小さな物体および多数の物体への適用	システムデザイン研究科 システムデザイン専攻 助教 館野寿丈
		B15	ポラリメトリック合成開口レーダによる都市特徴量の抽出 ー電波で都市域を観測すると何が見えてくるか？ー	システムデザイン研究科 システムデザイン専攻 教授 福地 一
		B16	デザインツールとしてのCG技術に関する研究	システムデザイン学部 インダストリアルアートコース 准教授 笠原信一

17:35~17:50	ポスターセッション
-------------	-----------

【ポスター展示】

ポスター会場	13:30~17:50	研究成果のポスター展示 (32テーマ)
--------	-------------	---------------------

【技術相談：マッチングスペース】

会場Ⅱ	13:30~17:50	産学交流コーナー (技術相談・マッチングスペース)
-----	-------------	---------------------------

【総括挨拶】

会場Ⅰ	17:50~17:55	首都大学東京 研究シーズ発表会2007 実行委員長 産学公連携センター副センター長 小柴共一 (理工学研究科 生命科学専攻教授)
-----	-------------	---

【交流会】

交流ゾーン	18:00~19:15	発表者を囲んでの交流会 (会費 2,000円)
-------	-------------	-------------------------

FAX(本紙)またはホームページにてお申し込み下さい。

FAX:03-5214-8496 **http://deainoba.jp/**

聴講をご希望されるプログラムにチェックを入れてください。

挨拶 (会場 I)	13:30	
会場 I 口頭発表者 (人と自然、健康)	時間	会場 III 口頭発表者 (新素材、新技術)
<input type="checkbox"/> A1 心理学的ルール抽出法と心理的支援システムへの応用 人文科学研究科 人間科学専攻 山下利之 教授	13:45	<input type="checkbox"/> B1 省エネルギー・CO ₂ 削減対策 システムデザイン研究科 システムデザイン専攻 川上満幸 教授 山中仁寛助教
<input type="checkbox"/> A2 世界に誇るべき生態系・南硫黄島 理工学研究科 生命科学専攻 加藤英寿 助教	14:10	<input type="checkbox"/> B2 金ナノ粒子触媒を用いた空気浄化とグリーンケミストリー 都市環境科学研究科 環境調和・材料化学専攻 春田正毅 教授
<input type="checkbox"/> ショートプレゼンテーション (会場 I)	14:40	
ポスターセッション	15:15	
<input type="checkbox"/> A3 建築物群がつくる地表面の幾何学的形状と都市気候 都市環境科学研究科 地理環境科学専攻 高橋日出男 教授	15:40	<input type="checkbox"/> B3 疎水性表面微細構造による流動抵抗の低減化技術の開発 理工学研究科 機械工学専攻 小方 聡 准教授
<input type="checkbox"/> A4 大規模災害時における「災害救助システム」の構築に関する研究 システムデザイン研究科 システムデザイン専攻 松井岳巳 教授	16:05	<input type="checkbox"/> B4 高勾配磁気分離によるリンおよび有害金属汚染水の浄化 理工学研究科 電気電子工学専攻 三浦大介 助教
<input type="checkbox"/> A5 MRIの3次元計測による被写体の動き補正 人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 篠原広行 教授	16:30	<input type="checkbox"/> B5 カーボンナノチューブによるナノ流体デバイス 理工学研究科 物理学専攻 真庭 豊 教授
<input type="checkbox"/> ショートプレゼンテーション (会場 I)	17:00	
ポスターセッション	17:35	
挨拶 (会場 I)	17:50	
<input type="checkbox"/> 交流会	18:00~19:15	交流ゾーン (発表者を囲んでの交流会 会費 2,000円)
技術相談	13:30~17:50	産学交流コーナー (技術相談・マッチングスペース)

ふりがな お名前	所在地 (勤務先)
ふりがな 会社名	
所属・役職	T E L
E-mail	F A X

- ご登録頂いた住所やメールアドレスなどに、主催者から各種ご案内(研究発表会・公募情報等)をお送り差し上げて可いでしょうか。
- Eメールによる案内を希望 DMによる案内を希望 ※DMによる案内をご希望の際は住所を記載して下さい。

お問い合わせ先
独立行政法人 科学技術振興機構
 技術展開部 イノベーション創出課
 TEL: 03-5214-7995 FAX: 03-5214-8496
 E-mail: innovdei@jst.go.jp http://deainoba.jp/

会場案内

秋葉原カンファレンスフロア
 (秋葉原ダイビル5F)
 〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13

ACCESS JR 秋葉原駅 徒歩2分 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 徒歩4分
 東京メトロ銀座線 末広町駅 徒歩3分 つくばエクスプレス 秋葉原駅 徒歩3分

